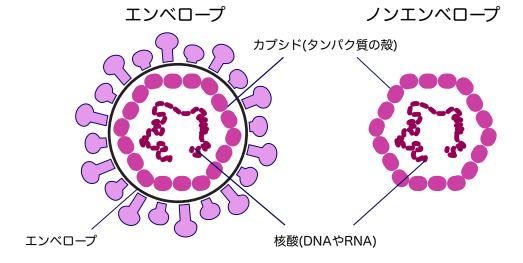
還元発酵乳酸菌™



還元発酵乳酸菌™は、乳酸菌発酵エキス・梅エキス・水素・海洋深層水の4つを組み合わせ 熟成発酵されて作られました。水素により特殊な製法で発酵させられ、乳酸菌1000億個/g 以上(ヨーグルト100個分)が含まれています。善玉菌増殖作用を持つ乳酸菌や乳酸菌発酵 エキスに抗菌ペプチドを含有しており、抗糖化・抗酸化作用に加えて、ウィルス不活性化、 腸内や口腔内の悪玉菌を消去してくれるという豊かで多彩な能力があります。

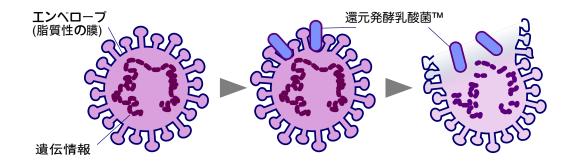
還元発酵乳酸菌™は、エンベロープのあるウイルスとないウイルスの両方に対して検出限界以下 (99.999%以上減少)という最大限の結果を出しています。このことからほぼあらゆるウィルスに対して有効と考えられます。

ウィルスは2種類に 分けられます。



豚コロナウィルス不活性化

近年はやっているコロナウィルス、インフルエンザ、ヒト免疫不全ウィルス(HIVウィルス)などは「エンベロープ」という薄い膜でできております。この薄い膜が破られるとウィルスは一瞬で死滅します。



還元発酵乳酸菌エキスは炭プラスラボ株式会社と奈良医大共同研究により 新型コロナウイルスを1分で99.9%以上無害化(試験管内)する効果を確認致しました。

豚コロナウィルス不活性化 (エンベロープ型)

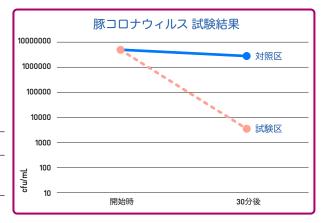
国内で新型コロナウィルスの試験が不可能なため、 新型コロナウィルスに構造が最も類似している豚コロナウィルスを使用しましたが、その構造上の酷似性の ため試験結果の大差はないと言われています。

豚コロナウィルス 試験結果

時間(分)	対照区	試験区	減少率(%)
0	106.7	-	
30	106.5	<10 ^{3.5}	99.9*

^{*}接種後 30 分の対照区と比較した際の減少率

単位;TCID50/mL



エンベロープ型のウィルスであれば、薄い膜でできていることは全く変わりませんので、還元発酵乳酸菌™がその膜(エンベロープ)を破ることで死滅します。エンベロープ膜を持つ豚コロナウィルスに対し、30分以内に99.9%不活性化が認められています。豚コロナウィルスと正常細胞と還元発酵乳酸菌™を混ぜた場合にも、細胞が感染することなく99.9%守られました。







(株式会社 食環境衛生研究所 による調べ)

インフルエンザウィルス不活性化 (エンベロープ型)

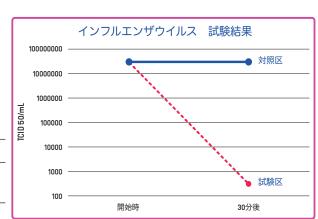
さらには、毎年やってくるインフルエンザに対しても同様の99.999%以上の不活性効果(検出限界以下)が確認されています。

SIVインフルエンザウイルスカ価測定結果

時間(分)	対照区	試験区	減少率(%)
0	107.5	-	
30	107.5	<10 ^{2.5}	99.999*

^{*}接種後 30 分の対照区と比較した際の減少率

単位;TCID50/mL



ウイルス陰性時の血球像 (非凝集)



対照区:ウイルス陽性 (血球凝集がみられる)



還元発酵乳酸菌™に守られた
試験区・ウィルス除性(非経集)



(株式会社 食環境衛生研究所 による調べ)

ネコカリシウイルス不活性化 (ノンエンベロープ型)

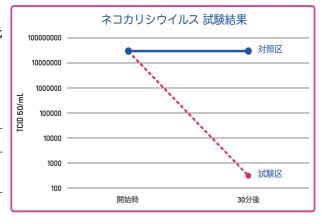
エンベロープのないウィルス(ノンエンベロープウィルス)の代表であるネコカリシウィルス(ノロウィルス代替)に対して還元発酵乳酸菌™は99.999%以上不活性効果を発揮しています。

FCVネコカリシウイルスカ価測定結果

時間(分)	対照区	試験区	減少率(%)
0	107.5	-	
30	107.5	<10 ^{2.5}	99.999*

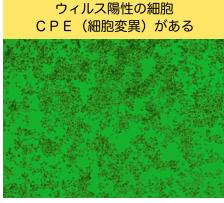
^{*}接種後 30 分の対照区と比較した際の減少率

単位;TCID50/mL



正常な細胞とネコカリシウイルスを混ぜた場合、陽性反応(CPE=細胞変異)がでます。しかし、ネコカリシウイルスと正常細胞と還元発酵乳酸菌™を混ぜた場合には、細胞が感染することなく99.999%還元発酵乳酸菌™により守られました。







(株式会社 食環境衛生研究所 による調べ)

還元発酵乳酸菌™ができるまで





乳酸菌発酵エキス 12種乳酸菌の複合培養





海洋深層水



梅エキス



乳酸菌1000億個/g以上 (ヨーグルト100個分)

(1個分を100mlとして到等省令の発酵到成分 規格で規定された乳酸菌(数10億個)を基に算出)

悪玉菌クレンズ「腸内・口腔内ケア」

還元発酵乳酸菌™は、悪玉菌(大腸菌、ピロリ菌(胃がんリスク要因)、 虫歯菌、歯周病菌など)に対する抗菌作用が確認されています。

何と検出されず!



ウェルシュ菌(0.01ml)

対照 1分後 生菌数 1.7×106



検体 1分後 生菌数 <10* *検出せず

ジンジバリス菌(歯周病菌)



対照 1分後 生菌数 2.0 x 107



検体 1分後 生菌数 <100* *検出せず

ミュータンス菌(虫歯菌)



対照 5分後 生菌数 7.2×105



検体 5分後 生菌数 <10* *検出せず

パスツレラ菌 (犬猫より感染する口腔内細菌)



対照 1分後 生菌数 10 x 107



検体 1分後 生菌数 <100* *検出せず

ピロリ菌(胃がんリスク要因)



対照 5分後 生菌数 2.9×106



黄色ブドウ球菌 (大腸二大悪玉菌の一つ)

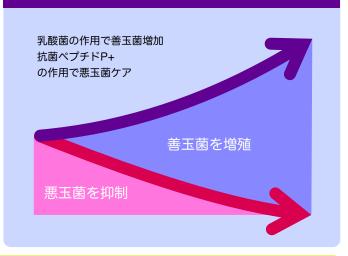


対照 5分後 生菌数 6.3 x 105



検体 5分後 生菌数 <10* *検出せず

還元発酵乳酸菌™の特徴



還元発酵乳酸菌™の働きで、全てにおいて「検出されず」を達成!

(試験機関: 衛生微生物研究センター と 一般社団法人日本食品分析センター による調べ)